

【投稿】仙台空港再開に尽くした業者と官庁に拍手

会員 村澤秀樹

6月21日の産経新聞に、自衛隊の災統合任務部隊指揮官・君塚栄治陸将のインタビューが載っていた。最後のコメントで、報道にはなっていないが仙台空港の「メイン滑走路の車などを1日でどけてきれいにしたのは国土交通省と契約した日本の業者」であることを明かし、日本の国は大したものだとの発言もした。

私の不勉強もあろうが、てっきり仙台空港再開作業は専ら米軍の手によるものと思っていた。「トモダチ作戦」により全面的な協力してくれた米軍に感謝するのは、礼儀を持った日本人として当然である。しかし、その中で、日本の民間業者や官庁がしっかり働いたことが広く知られていないというのは、日本人として恥ずかしいことである。

特に、補正予算もなしに、年度末に迅速に経費をかき集め、発注をかけた国交省の事務方の決断力は特筆すべきものがある。その迅速な契約事務を行った国交省事務官と、発注を受けて全力を尽くして業務に当たった日本の業者に対し、拍手を送るとともに、このような対応についてこそ、マスコミはいち早く事実を報道し、国民に勇気を与えるべきであったと感じる。